

バンコク銀行(BBLn)

2018/12 期 2Q(4-6 月)は 14.3%の増益、2018/12 通期の会社計画は貸出残高が前期比 5-6%増

タイ | 銀行 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG BBL TB | REUTERS BBL.BK

- 2018/12 期 2Q (4-6 月) は、純金利収益が前年同期比 6.1%増の 175.73 億 THB、非金利収益が同 19.1%増の 136.67 億 THB、営業利益が同 19.2%増の 113.31 億 THB、純利益が同 14.3%増の 91.94 億 THB。
- 2018/6 末時点の貸出残高は 2017/12 末比 3.1%増の 2 兆 654 億 THB と伸びた。不動産・建設向け、農業・鉱業向けが伸びを牽引。
- 2018/12 通期会社計画は、貸出残高の伸び率が 5-6%、純受入手数料の伸び率が 1 桁台後半、経費率が 40%台半ばである。

What is the news?

2018/12 期 2Q (4-6 月) は純金利収益が前年同期比 6.1%増の 175.73 億 THB、非金利収益が同 19.1%増の 136.67 億 THB、営業利益が同 19.2%増の 113.31 億 THB、純利益が同 14.3%増の 91.94 億 THB となった。貸出、インターバンク取引、短期金融市場商品からの受取利息の増加により受取利息・配当金が増加した。また、無担保劣後債が 2017/12 に早期償還したこと、および外貨建て無担保優先社債が 2018/3 に満期を迎えたことなどによる支払利息の減少も寄与。純金利マージン (NIM) が 2.33%と前年同期の 2.31%から 2bp 改善した。非金利収益も、トレーディングおよび外国為替取引、投資収益、配当収入が伸びたほか、バンカシュアランス商品、ミューチュアル・ファンドおよび証券事業などの受入手数料が増加した。営業費用は同 4.1%増の 133.76 億 THB と増加したものの、経費率は 42.8%と前年同期の 45.8%から 3.0%改善した。

2018/6 末時点の貸出残高は 2017/12 末比 3.1%増の 2 兆 654 億 THB。貸出先別では、不動産・建設向けが同 10.6%増の 2,113 億 THB、農業・鉱業向けが同 18.3%増の 551 億 THB と伸びを牽引した。その他でも、主力の製造業&商業向けの貸出残高は同 1.7%増の 8,335 億 THB、公益事業・サービス業向けが同 1.5%増の 4,279 億 THB、住宅向けが同 1.4%増の 2,313 億 THB、その他が同 8.6%増の 3,060 億 THB と全般的に貸出は堅調に伸びた。預金残高が同 1.7%増の 2 兆 3,498 億 THB となった。また、不良債権額 (NPL) は同 4.5%減の 834 億 THB と減少し、不良債権比率 (NPL レシオ) は 3.5%と 2017/12 末時点の 3.9%から改善した。

How do we view his?

同社によると、足元のタイ経済は、個人消費と民間投資の復調により回復の兆しを見せているという。個人消費は中間所得者層を中心とする非農業世帯が牽引し緩やかな成長を見せており、民間投資は輸出の拡大による製造業者の生産能力拡充の動きが進んでいる。また、政府による東部経済回廊 (EEC) 開発などのインフラ投資計画が企業マインドや投資環境を改善させ、外国資本の呼び水となっているという。2018/12 通期会社計画は、貸出残高の伸び率が 5-6%、純受入手数料の伸び率が 1 桁台後半、NPL レシオと NIM が前期比横ばい、経費率が 40%台半ば。2018/12 通期の市場予想は、当期利益が同 8.7%増の 358.72 億 THB。

業績推移

※参考レート 1THB=3.34円

事業年度	2015/12	2016/12	2017/12	2018/12F	2019/12F
当期利益(百万THB)	34,180	31,814	33,008	35,872	40,249
EPS(THB))	17.91	16.67	17.29	18.47	20.42
PER (倍)	11.39	12.24	11.80	11.04	9.99
BPS(THB)	189.56	198.56	210.45	221.60	235.66
PBR (倍)	1.08	1.03	0.97	0.92	0.87
配当(THB)	6.50	6.50	6.50	7.11	7.81
配当利回り (%)	3.19	3.19	3.19	3.48	3.83

配当予想(THB) 7.11 (予想はBloomberg)
 終値(THB) 204.00 2018/8/16

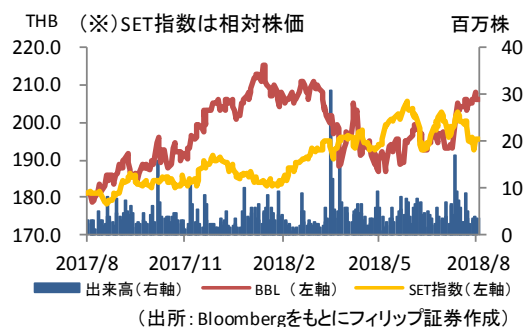
会社概要

1944年設立。タイ国内第1位の商業銀行であり、東南アジアでも最大級の銀行の1つ。コーポレートファイナンスと中小企業(SME)向け融資ではタイのリーディングカンパニーである。約240か所のビジネスセンター・ビジネスデスクを備え、シンジケートローン、債券引受、貿易金融、プロジェクトファイナンス、カस्टディアンサービス、SMEおよびマーチャント・バンキング、産業別アドバイザーなどを提供する。リテールバンキングでは、口座数が1,700万以上と国内最大の顧客基盤を持つ。国内1,200以上の支店(セルフサービス店舗を含む)、コールセンター、インターネット・モバイルバンキングなどからなる全国規模のネットワークを通じ、商業銀行業務のほかファイナンシャル・プランニングや投資商品なども提供している。

カンボジア、ケイマン諸島、中国、香港、インドネシア、日本、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、台湾、英国、米国、ベトナムの15の国・地域に海外支店を32店舗展開し、世界で1,000以上のコルレスバンクと契約している。100%子会社であるバンコク銀行(中国)は、中国唯一のタイの銀行である

企業データ(2018/8/17)

ペーパ株	0.83
時価総額(百万THB)	391,313
企業価値=EV(百万THB)	-
3ヵ月平均売買代金(百万THB)	901.1



主要株主(2018/8)

株主	(%)
1.Stock Exchange of Thailand Co Ltd	33.29
2.ステート・ストリート	4.68
3.Thailand Securities Depository Co Ltd	4.18

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

増淵 透吾
 togo.masubuchi@phillip.co.jp
 +81 3 3666 0707
 庵原 浩樹
 +81 3 3666 6980
 hiroki.ihara@phillip.co.jp

バンクク銀行(BBLn)

2018年8月17日

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹
公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。